

青森県緊急被ばく医療マニュアル

- 資料編 -

【資料1】

被災地住民登録票については、各市町村防災計画で規定するものであるが、市町村の参考とするため、基本的な様式を定めておく。

被災地住民登録票

第 号	平成 年 月 日 時 分 記載	
ふりがな 1.氏名	男 女	明治・大正 昭和・平成 年 月 日
2.職業	年齢 満 才	
3.現住所		
4.電話番号		
5.本籍地		
6.事故発生時の居場所	郡・市 町・村字 番地	
	屋内（木造・鉄骨・コンクリート・石造） ・ 屋外	
	事故現場からの距離 km m	
7.事故発生直後の行動	屋内	時 分頃 ~ 時 分頃 備考
	屋外	時 分頃 ~ 時 分頃 備考
8.現在の体調や治療中の病気の状態等		
9.汚染の程度	有・無 (有りの場合の程度)	
10.除染その他の措置状況	衣服	A B (携行・支給)
	身体	A B C D
	医療措置	A B C D E
	(記載上の注意)	
	衣服の欄 A:更衣せず B:更衣	
	身体の欄 A:未処理 B:水により除染 C:洗剤により除染 D:特殊洗剤により除染	
医療措置の欄 A:不必要 B:安定ヨウ素剤投与 C:その他の薬品投与 D:一般検査 E:精密検査(ホールディカウンタ測定等) F:治療		
11.被ばく当時の急性症状		
12.避難・退避場所名		

13. 避難・退避 期間	月 日 時 ~ 月 日 時
14. 避難・退避 の開始・到着 の時間（移動 手段）	開 始 時 分 → 到 着 時 分 （ 車両 ・ 徒歩 ・ その他 （ ） ）
15. 到着までの 行動	避難するまでどこにいましたか。 （ 一次避難所・自宅・その他 ） 簡易マスクをしていましたか。 （ はい ・ いいえ ） 雨に濡れましたか。 （ はい ・ いいえ ）
16. その他の参 考事項	妊娠の可能性の有無（有・無）有りの場合：最終月経の時期（ ） 放射線治療や検査の実施状況 （ ）
17. 発行年月日	平成 年 月 日
発 行 者	市町村長 印

（この記録表について）

1. この記録票は、事故当時の行動や被ばくの状況を記録したものです。今後の医療や健康管理のための参考となるものですので、紛失しないように大切に保管してください。
2. 住所や氏名が変わったときには、すぐその旨を市町村の担当課に届けてください。
3. この記録票を紛失又は破損したときは、再交付を市町村の担当課に申し出てください。
4. この記録票は、他人に譲ったり、貸したりしてはいけません。

【資料2】

スクリーニング測定記録票

ふりがな			
1.氏名			
2.性別 生年月日	男 明治・大正・昭和・平成 女 年 月 日		
3.現住所			
4.電話番号			
5.検査日時	年 月 日 時 分		
6.検査場所・測定者	場所: 測定者:		
7.サーベイメータの形式		身体汚染スクリーニング測定結果(着用中の衣服を含む)	
8.サーベイメータ管理番号		必要ならば図中にも記入	
9.負傷	要 救急処置 要 介護 無	部位	スクリーニング計数率
			スクリーニングレベル 超過 (min ⁻¹) レベル以下
10.病気 その他(妊娠)	要 救急処置 要 介護 処置を要しない	A (頭部)	
11.安定ヨウ素剤の服用	有 (月 日 時 mg) 無	B (顔(特に 鼻腔))	
		C (両肩)	
12.除染処置	要 不要	D (両手の掌)	
13.外部被ばく推定線量当量 全身 mSv(注) 内部被ばく推定線量当量 全身 mSv(注)		E (両手の甲)	
		F (服及びズボンのポケット)	
14.観察	要 不要	G (その他) 靴等	
15.スクリーニングレベル スクリーニングレベル: 40 Bq/cm ² 換算係数: バックグラウンド計数率: min ⁻¹ 目安計数率: min ⁻¹		(注) バックグラウンドを含む 正味計数率	

SPEEDI ネットワークシステム等のデータにより被災者の居た地域と時間を参考にスクリーニングチームが記載する。

【資料4】

除染記録票

本人記入欄（記入日 年 月 日）			
ふりがな 1.氏名		(性別) 男・女 女(妊婦)	(生年月日) 明治・大正・昭和・平成 年 月 日
2.現住所	(電話)		

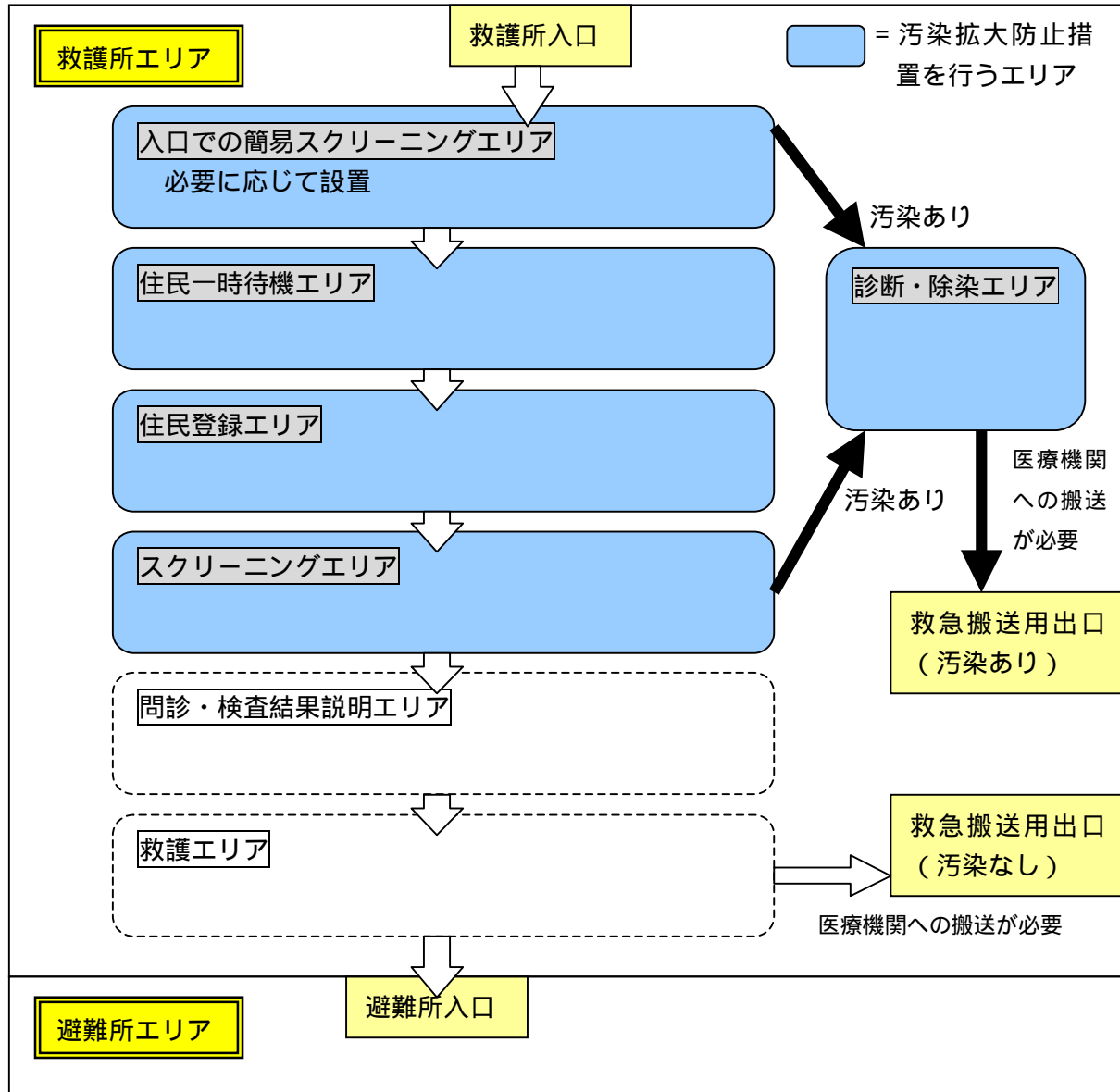
医師記入欄			
3.被災者の状況	外傷 有・無 (切り傷・刺し傷・すり傷・挫傷) 骨折 有・無 意識障害 有・無 呼吸障害 有・無 精神安定 その他		
4.救急処置			
5.安定ヨウ素剤服用状況	有・無 (月 日 時 量 mg)		
6.医師氏名	(サイン)		
7.今後の措置	不要・必要(医療処置・内部被ばく検査)		
8.総合所見			
9.医師氏名	(サイン)		

線量評価記入欄				
10. 残 存 汚 染 検 査	測定時刻		年 月 日 時 分	
	サーベイメーターの種類			
	サーベイメーターの管理番号			
	B・G・レベル		min ⁻¹	μ Sv/h
	身体汚染スクリーニングレベル		min ⁻¹	
	サーベイ結果			
	部位	除染前	第1回	第2回
		min ⁻¹		
	傷部			
	頭部			
	顔面			
	鼻腔			
	手部			
	腹部			
脚部				
甲状腺	μ Sv/h			
測定者氏名		(サイン)		
11. 線 量 評 価	内部被ばく	皮膚汚染		
	推定ヨウ素残留量 1	K Bq		
	推定全身線量 2	mSv		
	1 換算計数：K = [K Bq/(μ Sv/h)] 推定ヨウ素残留量 = (S - B . G .) × K 2 SPEEDI の情報等から 推定			
	評価者氏名	(サイン)		

【資料5】

救護所及び保健総室の区画の例

救護所においては下図の区画例を参考としてエリア設定を行う。また、保健総室における汚染検査及び健康相談においては、保健総室又は近隣の公共施設の立地条件や設備を考慮しつつ、汚染拡大防止措置に留意のうえ、下図に準じてエリア設定を行う。



< 留意事項 >

- 汚染拡大防止措置を行うエリア、行わないエリアの境界を明確に区分すること。
- 人の流れは一方方向で、後戻りするルート設定は行わないこと。
- 汚染検査を行っていない者と、汚染検査で汚染が確認されなかった者が交差しないようにエリアを設置すること。
- 診断・除染エリア、救護エリアの処置を行う場所はプライバシーに配慮して設置すること。

【資料6】

サーベイメータ等の操作方法

1. 主なサーベイメータ等

機器名	測定線種	備考
GM計数管式サーベイメータ	線	表面汚染検査用
NaIシンチレーションサーベイメータ	線	線量測定用
ZnSシンチレーションサーベイメータ	線	表面汚染検査用
個人線量計(ポケット線量計)	・線	個人防護用

2. サーベイメータの操作方法

(1) GM計数管式サーベイメータの操作方法


< TGS - 146 を例に説明 >

各部の名称



操作方法

・起動操作

電源スイッチ「」を約2秒間押すと電源が投入される。

TGS-146は、電源投入後に自動的に、電池残量、高圧のチェックを行う。

【自動チェックができない機種の場合の手順】

「COUNT RATE」スイッチを最大にしておく。


電池のチェック

「FUNCTION」スイッチを「BATT」の位置にして、電池の電圧をチェックする。メーターの針が、緑の範囲内にあることを確認し、針が緑から外れている場合は、「FUNCTION」スイッチを「OFF」にし、電池を交換する。



高圧のチェック

「FUNCTION」スイッチを「HV」に設定し、メーターの針が「赤」の線上にあることを確認する。針が「赤」から外れている場合は、所定の高圧が得られておらず、正しい計測が出来ないのでメーカーに調整を依頼する。

・測定

測定中に放射線の計測数を「音」で確認したいときは、モニタ音スイッチ「」をONにする。

レンジの選択

適切なレンジを選択するために、メーター上部のレンジ表示用LEDを見ながら「」、」スイッチを押して最大から順に切り替え、針が中央付近にくるようなレンジを選択する。

時定数(「TIME CONST」)の選択

メーターの時定数は、3秒、10秒、30秒の三段階に分かれているので、「TIME CONST」のスイッチを押して、適正な時定数を選択する。(時定数はデジタル表示部左に表示される。)

メーター指示値の読み取りには、時定数の2～3倍の時間が必要となる。

メーターの読み方

測定値は、デジタル表示部でも読みとれるが、アナログメーターで読みとる場合

- ・目盛りは、上側の目盛りは0～300、下側の目盛りは0～100までとなっている。
- ・測定値は、レンジが300、3k、30kの時は上側の目盛りで読み、レンジが300の時は、読み取り値のまま、レンジが3k、30kの時は、それぞれ読み取り値を10倍、100倍して値を求める。
- ・測定値は、レンジが100、1k、10k、100kの時は下側の目盛りで読み、レンジが100のときは、読み取り値のまま、レンジが1k、10k、100kの時は、それぞれ読み取り値を10倍、100倍、1,000倍して値を求める。
- ・針の読みとりにあたっては、選択した時定数の3倍の時間が経過してから、平均的な値を読みとるが、針が振れている場合は、目測で振れ幅の中央値を読みとる。

・注意事項

検出器部分は破損しやすいので注意して取り扱い。

雨天時や汚染レベルの高い区域で測定するときは、サーベイメータ本体をポリエチレンシートで被い、濡れたり汚染したりしないようにする。検出器は薄手のビニール袋により保護する。サーベイメータは常温、低湿度の場所で保管し、一定期間で校正点検を行う。

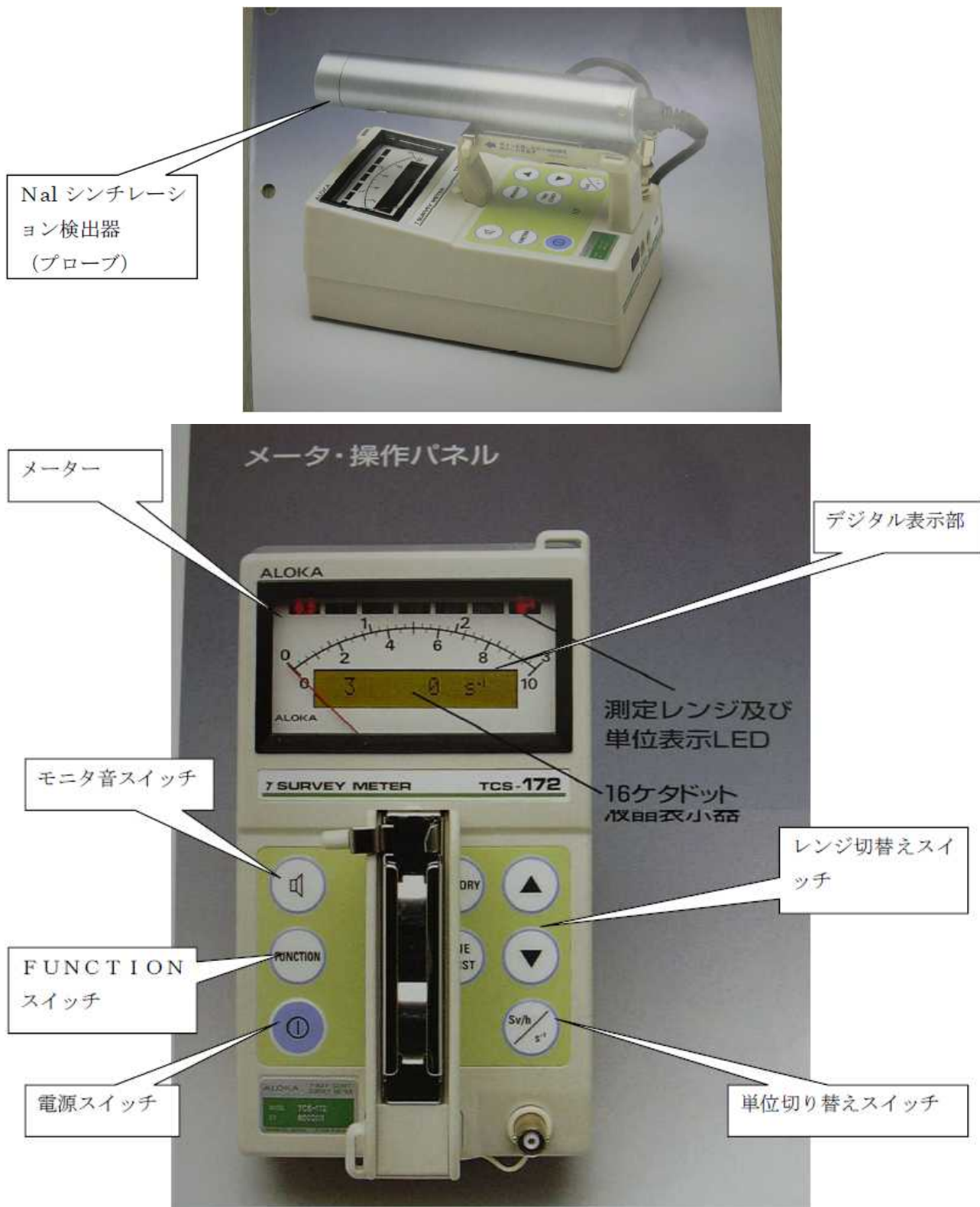
長時間使用しない時は、乾電池を取り出して乾燥した場所に保管する。

住民や患者に不安を与える可能性がある時は測定音を消して使用する。

(2) NaIシンチレーションサーベイメータの操作方法


< TCS - 172 を例に説明 >

各部の名称




操作方法

・起動操作

電源スイッチ「」を約2秒間押すと電源が投入される。



TCS-172は、電源投入後に自動的に、電池残量、高圧のチェックを行う。

・測定

測定中に放射線の計測数を「音」で確認したいときは、モニタ音スイッチ「」をONにする。

線量率(Sv/h)測定か計数率(s^{-1})測定か、単位切換スイッチ「Sv/h / s^{-1} 」を押して選択する。メータ上部の単位表示LEDが選択した単位になっているか確認する。

レンジの選択

適切なレンジを選択するために、メータ上部のレンジ表示用LEDを見ながら「」、」スイッチを押して最大から順に切り替え、針が中央付近にくるようなレンジを選択する。

時定数(「TIME CONST」)の選択

メータの時定数は、3秒、10秒、30秒の三段階に分かれているので、「TIME CONST」のスイッチを押して、適正な時定数を選択する。(時定数はデジタル表示部左に表示される。)

メータ指示値の読み取りには、時定数の2～3倍の時間が必要となる。

メータの読み方

測定値は、デジタル表示部でも読みとれるが、アナログメータで読みとる場合

- ・目盛りは、上側の目盛りは0～3、下側の目盛りは0～10までとなっている。
- ・測定値は、レンジが0.3、3、30の時は上側の目盛りで読み、レンジが3の時は、読み取り値のまま、レンジが0.3、30の時は、それぞれ読み取り値を1/10倍、10倍して値を求める。
- ・測定値は、レンジが1、10の時は下側の目盛りで読み、レンジが10のときは、読み取り値のまま、レンジが1の時は、読み取り値を1/10倍して値を求める。
- ・針の読みとりにあたっては、選択した時定数の3倍の時間が経過してから、平均的な値を読みとるが、針が振れている場合は、目測で振れ幅の中央値を読みとる。
- ・線量率測定は「 $\mu\text{Sv/h}$ 」、計数率測定は「 k s^{-1} 」なので単位に注意する。

・注意事項

検出器部分は破損しやすいので注意して取り扱う。

雨天時や汚染レベルの高い区域で測定するときは、サーベイメータ本体をポリエチレンシートで被い、濡れたり汚染したりしないようにする。検出器は薄手のビニール袋により保護する。サーベイメータは常温、低湿度の場所で保管し、一定期間で校正点検を行う。

長時間使用しない時は、乾電池を取り出して乾燥した場所に保管する。

住民や患者に不安を与える可能性がある時は測定音を消して使用する。

(3) ZnSシンチレーションサーベイメータの操作方法

< TCS - 222 を例に説明 >

各部の名称



操作方法

．電圧チェック

「RANGE」スイッチを最大にしておく。

電池のチェック


「FUNCTION」スイッチを「BATT」の位置にして、電池の電圧をチェックする。

メーターの針が、緑の範囲内にあることを確認し、針が緑から外れている場合は、「FUNCTION」スイッチを「OFF」にし、電池を交換する。

電圧のチェック

「FUNCTION」スイッチを「HV」に設定し、メーターの針が「赤」の線上にあることを確認する。針が「赤」から外れている場合は、所定の高圧が得られておらず、正しい計測が出来ないのでメーカーに調整を依頼する。

．測定

「FUNCTION」スイッチを「USE」に切り替える。測定中に放射線の計測数を「音」で確認したいときは、「FUNCTION」を「」にする。

レンジの選択

適切なレンジスイッチを選択するために、メーターを見ながら「レンジ」スイッチを最大から順に切り替え、針が中央付近にくるようなレンジを選択する。

時定数(「TIME CONST」)の選択

メーターの時定数は、3秒、10秒、30秒の三段階に分かれているので、「TIME CONST」のスイッチを切換えて、適正な時定数を選択する。メーター指示値の読み取りには、時定数の2～3倍の時間が必要となる。

メーターの読み方

- ・目盛りは、上側の目盛りは0～300、下側の目盛りは0～100までとなっている。
- ・測定値は、レンジが300、3k、30kの時は上側の目盛りで読み、レンジが300の時は、読み取り値のまま、レンジが3k、30kの時は、それぞれ読み取り値を10倍、100倍して値を求める。
- ・測定値は、レンジが100、1k、10k、100kの時は下側の目盛りで読み、レンジが100の時は、読み取り値のまま、レンジが1k、10k、100kの時は、読み取り値を10倍、100倍、1,000倍して値を求める。
- ・針の読みとりにあたっては、選択した時定数の3倍の時間が経過してから、平均的な値を読みとるが、針が振れている場合は、目測で振幅の中央値を読みとる。

測定終了後は、「FUNCTION」スイッチを「OFF」にする。

．注意事項

取り扱いには丁寧にし、ショックを与えないようにする。

雨天時や汚染レベルの高い区域で測定するときは、サーベイメータ本体をポリエチレンシートで被い、濡れたり汚染したりしないようにする。また、検出器はマイラー膜で保護する。

サーベイメータは常温、低湿度の場所で保管し、一定期間で校正点検を行う。

長時間使用しない時は、乾電池を取り出して乾燥した場所に保管する。

線のバックグラウンドがほとんど0であることに留意する。(1分間に1カウント以下)バックグラウンドが異常に計数する場合は、検出器のしゃ光膜のピンホール、汚染等が考えられる。また、全く計数しない場合も、検出器のしゃ光膜の破れ等が考えられる。

住民や患者に不安を与える可能性がある時は測定音を消して使用する。

(4) 個人線量計 (ポケット線量計) の操作方法

< ADM - 112 を例に説明 >



操作方法

- ・電源スイッチを約3秒間押し続けると「ON」になる。
- ・液晶部の表示が表示テストの状態になり「8888」が表示される。その後、アラーム値が表示され、ブザー音と本体振動で測定状態になったことを知らせる。
- ・この時、前回の線量値が残っている場合には、クリアーの操作を行う。
- ・クリアーする時には、電源を一度切り、電源スイッチを10秒以上押し続けると「0CLR」と表示され、その後「0000」の表示になって、ブザー音と本体振動で測定状態になったことを知らせる。
- ・電源スイッチをONにした時刻を記録しておく。
- ・ストラップを首にかけ、液晶表示側を身体に向けて、男性は胸部に、女性は腹部に装着する (ポケットがある場合はポケットに入れる)。
- ・業務が終了したら、数値を読み取り記録する。
- ・電源スイッチを約3秒間押し続け、電源を「OFF」にする。

アラームの設定方法

- ・アラーム値設定モードボタンを押したまま、アラーム値セットボタンを1回押した (押し続けない) 後、ボタンを離す。このとき、ブザーが鳴り、表示部右上の「」が点灯し、現在のアラーム設定値が表示される。この状態がアラーム設定モードとなる。
- ・アラーム値セットボタンを1回押すごとにアラーム値が変わるので、設定したい値にセットする。
- ・アラーム値設定後、測定表示に戻る場合は、再度ボタンを押したまま、ボタンを1回押した後 (押し続けない) ボタンを離す。この時、ブザーが鳴り、表示部の「」が右下に移動し点灯する。これで測定表示モードに戻る。
- ・それぞれのモード設定中 (ブザーが鳴るまで) は、電源を切らない。
- ・アラーム値セットボタンは、誤操作防止のため、指先では操作ができないことから、先のとがったもので操作する。なお、シャープペンシルのような先の折れる可能性のあるものは故障の原因となるため使わない。

注意事項

- ・精密機器なので、衝撃を与えたり、落下させないように注意する。
- ・表示器の左下にバッテリーダウンマーク () が点灯したときは電池を交換する。
- ・個人線量計によっては、携帯電話等の電波の影響を受けて積算値が増えるので注意する。

【資料 7】

救護所チームの服装例

1. 救護所チームの服装

チーム	服 装
住民登録チーム スクリーニングチーム	個人線量計、ディスポ白衣、ディスポキャップ、ディスポマスク、綿手袋、オーバーシューズ
診断・除染チーム	個人線量計、タイベックスーツ、ディスポキャップ、ディスポマスク（必要に応じN95マスク）、綿手袋、ゴム手袋（2重装着）、オーバーシューズ（長）、ゴーグル
誘導チーム 救護チーム 運営支援チーム	個人線量計、ディスポ白衣、ディスポキャップ（所持）、ディスポマスク（所持）、綿手袋（所持）、オーバーシューズ（所持）

個人線量計は必ず装着し、業務従事後に線量を記録する。

誘導チーム、救護チーム、運営支援チームは個人線量計とディスポ白衣を装着し、汚染拡大防止措置を行っている場所に立ち入る際には、所持している装備を装着する。

2. 服装例（スクリーニング）



キャップとマスク



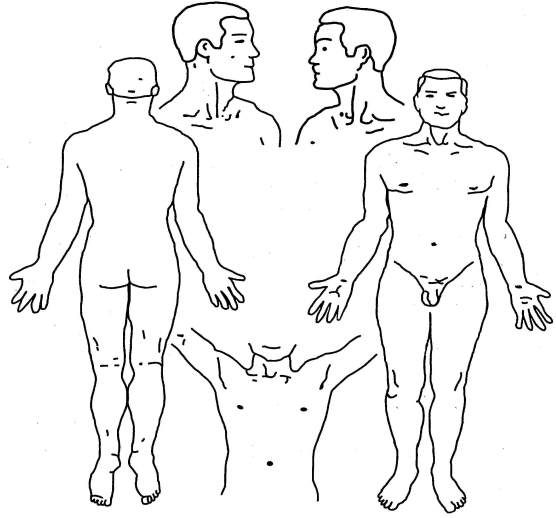
オーバーシューズ

「緊急被ばく医療の知識」（平成15年3月財団法人原子力安全研究協会）より抜粋

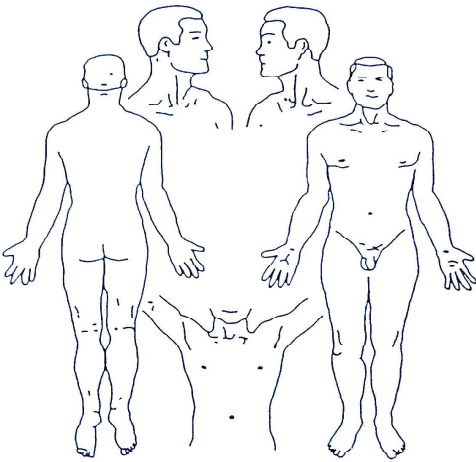
発信（責任）者： _____

所 属： _____

記 載 日 時： _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

ふりがな 被災者	男・女	生年月日	S H	・	・																							
所属会社	発生日時	月	日	時	分																							
発生状況																												
傷病者状態				既往歴																								
測定時刻	時	分	応急措置概要																									
意識	有・無																											
呼吸	有・無																											
血 圧	/ mm Hg																											
脈 拍	回 / 分																											
体 温	. 度																											
外 傷	有・無																											
出 血	有・無																											
骨折の疑い	有・無																											
APD 線量	0 . 0 0 m S v																											
放射性物質の 付着状況	体表面汚染 (有・無・不明)	外部被ばく (有・無・不明)				内部被ばく (有・無・不明)	<p>汚染レベル</p> <table border="1"> <tr> <td>： 除染前</td> <td>Bq/cm²</td> <td>除染後</td> <td>Bq/cm²</td> </tr> <tr> <td>： 除染前</td> <td>Bq/cm²</td> <td>除染後</td> <td>Bq/cm²</td> </tr> <tr> <td>範囲：</td> <td colspan="3">cm²</td> </tr> </table>		： 除染前	Bq/cm ²	除染後	Bq/cm ²	： 除染前	Bq/cm ²	除染後	Bq/cm ²	範囲：	cm ²										
： 除染前	Bq/cm ²	除染後	Bq/cm ²																									
： 除染前	Bq/cm ²	除染後	Bq/cm ²																									
範囲：	cm ²																											
医療スタッフ の予測線量 (汚染部位か らの距離 30cm あたり)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0.1 m Sv/h 以下 ・ 0.1 m Sv/h 以上 ・ 不明 		<p>サーベイ結果</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">計数値 min⁻¹</td> <td></td> <td>グロス</td> <td>B.G</td> <td>Net</td> </tr> <tr> <td>除染前</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計数値 min⁻¹</td> <td></td> <td>グロス</td> <td>B.G</td> <td>Net</td> </tr> <tr> <td>除染前</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>除染後</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			計数値 min ⁻¹		グロス	B.G	Net	除染前				計数値 min ⁻¹		グロス	B.G	Net	除染前						除染後		
計数値 min ⁻¹		グロス	B.G	Net																								
	除染前																											
計数値 min ⁻¹		グロス	B.G	Net																								
	除染前																											
		除染後																										
< その他の所見 >	搬送関係	搬送手段																										
		搬 送 先																										
		六ヶ所出発予定	時	分																								
		病院到着予定	時	分																								

消防署・医療機関への救急連絡情報 第 報 (/)

被災者	被災者数	名	要救助者	有 (名) ・ 無 ・ 調査中			
	ふりがな氏名	男・女		生年月日	S H	年 月 日 (才)	
	所属会社						
発生状況	発生日時	平成 年 月 日 ()			時	分 頃	
	発生場所	原子炉 ・ タービン ・ サービス ・ 他 ()					
	管理区分	非管理区域	管理区域	汚染区分	A区域 ・ B区域 ・ C区域 ・ D区域		
				線量区分	1区域 ・ 2区域 ・ 3区域		
発生状況							
被災者の状況	傷病の状態	意識	正常・もうろう・薄・無	外傷	有・無・不明	部位 []	
		呼吸	正常・微弱・不規則・無	出血	有・無・不明	部位 []	
		脈拍	正常・不規則・微弱・無	骨折	有・無・不明	部位 []	
		血圧	mmHg	体温			
		その他 (補足説明)					
	被ばく汚染の状況	放射性物質の付着状況	無 ・ 有 [4 Bq/cm ² 以下 ・ 4 Bq/cm ² 超過 ・ 評価中]				
		汚染・被ばくの程度 (当初サーベイ)	体表面汚染	[Bq / cm ²]		汚染部位状況	
			外部被ばく	[mSv]			
			内部被ばく	無 ・ 有 [mSv] ・ 評価中			
		除染の状況	有・無	除染前 [Bq/cm ²]	➡	除染後 [Bq/cm ²]	除染方法 []
搬出時状態 (着衣等の状態)							
医療スタッフへの予想線量	0.1 mSv / 時 未満 ・ 0.1 mSv / 時 以上						
連絡状況	管理区域退域時刻	時	分	外傷・汚染部位の程度 (単位: Bq / cm ²) 			
	救急車要請時刻	時	分				
	(通報者名)						
	電話番号						
	発電所到着時刻	時	分				
	発電所出発時刻	時	分				
	搬送先病院名						
	放射線管理要員						
	医療機関到着予定	時	分				
	医療機関連絡者						
医療機関受信者							
搬送同乗者	電話番号	[搬送までに実施した処置]					
()							

東通原子力発電所 電話 0175-46-2225

FAX 0175-46-2227

東通村診療所 電話 0175-28-5111

FAX 0175-28-5601

東通消防署 FAX 0175-28-5003

むつ総合病院 FAX 0175-22-4439 (平日)

FAX 0175-22-7708 (夜間・休日)

県立中央病院 FAX 017-726-8420

電話 0175-27-2199

電話 0175-22-2111

電話 017-726-8122

緊急被ばく医療用資機材の配備状況

平成22年4月1日現在

資機材名	配備先																合計					
	初期被ばく医療等(スクリーニング・除染・診断・救護)											初期被ばく医療(外来診療)		二次被ばく医療		三次						
	医療業務課	原子力センター	東地方保健所	弘前保健所	八戸保健所	五所川原保健所	上十三保健所	むつ保健所	東通OFC(東通村)	日本赤十字社青森県支部	むつ市	横浜町	尾駈診療所(六ヶ所村)	千歳診療所(六ヶ所村)	公立野辺地病院	三沢市立三沢病院		むつ総合病院	県立中央病院	八戸市立市民病院	弘前大学医学部附属病院	
緊急時医療施設等整備																						
1 放射線測定器																						
(1)個人線量計																						
ポケット線量計用充電器		8	1																			9
ポケット線量計(PDM111)												5			5	5	5				5	25
アラーム付ポケット線量計(ADM102)		63																				63
アラーム付ポケット線量計(ADM112)		42	7	10	5	5	10	5	56													150
アラーム付ポケット線量計(ADM353)																					10	10
アラーム付ポケット線量計(DOSE3)		29																20	20			69
ポケット線量計用読取ソフト																		1	1			2
ポケット線量計用赤外線アダプター																		2	2			4
(2)サーベイメータ																						
GM管式(TGS125)線用		7	2	2	1	1	2	1	10				1									27
GM管式(TGS136)線用																		3	3			6
GM管式(TGS146)線用		6			1							1			1	1	1					11
電離箱式(IC313)線用		1	1																			2
NaIシンチレーション(TCS161)線用		1																				1
NaIシンチレーション(TCS171)線用		4																			3	7
NaIシンチレーション(TCS172)線用		5	13															3	3			24
ZnSシンチレーション(TCS222)線用		16	2	2	1	1	2	1				1					3	3				32
ZnSシンチレーション(TCS232)線用												1			1	1	1					4
シンチレーション(TCS362)線用		5																				5
ガンマ線スペクトルサーベイメータ(JSM112)																						1
I-125用サーベイメータ(TCS173)																						2
ポケットブルサーベイメータ(PM1203M)																						5
多目的サーベイメータ(PM1401K)																						3
線源探知個人線量計(PM1621M)																						5
(3)傷モニタ																						
傷モニタMCW-102																		1	1			2
傷モニタMCW-112																					2	2
(4)ハンドフットクロスモニタ																						
ハンドフットクロスモニタMBR301																		1	1			2
線ハンドフットクロスモニタ(MBR301)																					1	1
(5)体表面モニタ																						
簡易体表面モニタMBR-71-MBR-R42R		2																1				3
2 線量評価用測定器																						
(1)ホールボディカウンタ																						
ホールボディカウンタ																		1	1			2
(2)自動測定装置																						
線自動測定装置(JDC3301)																		1				1
マテリアルカウンタ(JSM1403)																		1				1
液体シンチレーションシステム(LSC-LB6000)																		1				1
低バックグラウンド自動測定装置(LBC4302)																						1
放射線モニタガンマ線エリモニタ(MAR781)																					5	5
(3)その他																						
被ばく線量評価パソコン																		1	1			2
ダストサンプラー(DSM361)																					1	1
3 汚染防護資機材																						
防護服		2																				2
布製防護服(不織布)		105	54						60	40	40	10			10	9	19	25	5	3		380
防寒具		66																				66
防護マスク		10																				10
マスク用フィルター		20																				20
防護靴(長靴)		51																				51
防護マスク(N95)		118							120	56	56	50			50	48		30	5	20		553
サージカルマスク(イヤーループタイプ)		100							100													200
防護用ゴーグル(フェイスシールド)		12							12			10			10	10	10	15	4	4		87
ディスボキャップ		470							120	60	60											710
サージカルキャップ(帽子型)		100							100													200
防護手袋(綿製)		336	84						120	36	24	24			24	18	24	48	24	24		786
スクリーニング用綿手袋(滑り止め付)		72							100													172
防護用ゴム手袋(チオックス8.5)		108	96						36			24			24	23	24	36	24	9		404
防護用ゴム手袋(チオックス8.0)		36							36													72
オーバーシューズ		90							120	56	56											322
オーバーシューズ(長)		15							10			10			9	10	30	5	4			103
防護用腕カバー		4															30					34
ディスボ手術着												20			20	18	10		10	20		98
ディスボ白衣(M)		30							30													60
ディスボ白衣(L)		30							30													60
ディスボ白衣(LL)		40							40													80
手術用帽子												20			10	10	10		5	10		65
医療者用防護セット												1			1	1	1		1	1		6
放射線防護用プロテクタ																		20	20			40

緊急被ばく医療用資機材の配備状況

平成22年4月1日現在

資機材名	配備先															合計					
	初期被ばく医療等(スクリーニング・除染・診断・救護)										初期被ばく医療(外来診療)			二次被ばく医療			三次				
	医療業務課	原子力センター	東地方保健所	弘前保健所	八戸保健所	五所川原保健所	上十三保健所	むつ保健所	東通OFC(東通村)	日本赤十字社青森県支部	むつ市	横浜町	尾駈診療所(六ヶ所村)	千歳診療所(六ヶ所村)	公立野辺地病院		三沢市立三沢病院	むつ総合病院	県立中央病院	八戸市立市民病院	弘前大学医学部附属病院
電子天秤		1					1	1													3
調剤用匙(3本組)		1					1	1													3
薬包紙		1					1	1													3
薬杯(100入り)		23					8	7													38
スポイト(100入り)		15					3	3													21
500mlポリ容器		12					10	10													32
5lポリ容器		1					1	1													3
9 汚染検査除染室・設備																					
移動式除染洗面台		11																3	3		17
除染用ベッド(診察ベッド)		1	1																		2
防災用温水シャワー付テント		1																			1
エアリブハウス(テント)		1																		1	2
災害救急医療用フレーム式テント														1							1
除染ブース																	1				1
12 戸棚、ロッカー等																					
ロッカー(4連タイプ)		1	1																		2
棚		12	4							3	1										20
保管キャビネット		1	11																		12
温度計付保管庫																		1			1
薬剤保管庫							2														2
薬品保管庫																		1	1		2
サーベイメーター収納ケース		12																			12
資機材保管庫		2								1											3
資機材保管庫(レンタル)		2																			2

【資料 10】搬送機関連絡先一覧

機関名	搬送要請部署	電話・ファックス	搬送要請方法	搬送手段	搬送車両等の駐在場所
原子力事業者	日本原燃株式会社業務管理室 安全衛生グループ	電話 0175 -71 -2123 FAX 0175 -71 -2183		事業者車両	原子力事業者
原子力事業者	東北電力株式会社東通原子力発電所	電話 0175 46 -2225 FAX 0175 46 -2227	電話及び FAX	事業者車両	原子力事業所
消防機関	北部上北広域事務組合 六ヶ所消防署	電話 0175 -72 -2960 FAX 0175 -72 -2888	電話及び FAX	救急車	六ヶ所消防署 (六ヶ所村尾駁)
消防機関	下北地域広域行政事務組合 東通消防署	電話 0175 -27 -2199 FAX 0175 -28 -5003	電話、FAX 及び専用回線	救急車	東通消防署 (南分遣所・北分遣所)
消防機関	青森地域広域消防事務組合消防本部通信指令課	電話 017 -775 -0851 FAX 017 -775 -1444	電話要請	救急車	東消防署 (筒井分署、横内分署)
消防機関	弘前地区消防事務組合消防本部通信指令課	電話 0172 -32 -5101 FAX 0172 -33 -0119	緊急時は搬送元消防本部(事故発生場所を管轄する消防本部)から電話要請	救急車	弘前消防署 (弘前市本町) 東消防署 (弘前市城東中央5丁目)
消防機関	八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部指令情報課	電話 0178 44 -2135 FAX 0178 46 -1171	緊急時、電話による要請	救急車	八戸消防署 (八戸市大字堀端町)
消防機関	十和田地域広域事務組合消防本部通信指令課	電話 0176 -25 -4111 FAX 0176 -25 -4118	電話又は FAX	救急車	十和田消防署

機関名	搬送要請部署	電話・ファックス	搬送要請方法	搬送手段	搬送車両等の駐在場所
消防本部	三沢市消防本部通信司令課	電話 0176-54-4111 FAX 0176-54-4149	電話及びFAX	救急車	三沢消防署
青森県	総務部防災消防課防災航空グループ	電話 017(729)0355 FAX 017(729)0377	市町村又は消防本部からの電話又はGIS要請	県防災ヘリコプター	青森県防災航空センター
青森県	健康福祉部医療業務課 地域医療政策グループ	電話 017(734)9287 FAX 017(734)8089		ドクターヘリ	八戸市立市民病院
自衛隊	陸上自衛隊第九師団司令部第三部防衛班	電話 017-781-0161 (内線 260・261) FAX 017-781-0161 (内線 676)	県知事からの災害派遣要請	ヘリコプター	八戸駐屯地
自衛隊	海上自衛隊 大湊地方総監部 オペレーション	0175-24-2275 (FAX 兼用)	県知事からの災害派遣要請	ヘリコプター 航空機	大湊航空基地 (むつ市城ヶ沢) 海上自衛隊第2航空群 (八戸市河原木)
自衛隊	航空自衛隊 北部航空方面隊司令部 防衛部 運用課	電話 0176-53-4121 (内線 2354) FAX (内線 2359) 課業時間外 SOC 当直幕僚 (内線 2204)	県知事からの災害派遣要請	ヘリコプター 航空機	三沢基地 入間基地 (埼玉県) 小牧基地 (愛知県)

機関名	搬送要請部署	電話・ファックス	搬送要請方法	搬送手段	搬送車両等の駐在場所
海上保安庁	第二管区海上保安本部	電話 1 1 8 022 -363 -0111 FAX 022 -367 -9098	第二管区海上保安本部長あて文書により要請(いとまがない場合は、口頭又は電話により受理し、事後に文書を徴する。)	巡視船 ヘリコプター	八戸港又は青森港
海上保安庁	八戸海上保安部	電話 0178 -33 -1221 FAX 0178 -33 -1223	第二管区海上保安本部長あて文書により要請(いとまがない場合は、口頭又は電話により受理し、事後に文書を徴する。)	巡視船 巡視艇 ヘリコプター	八戸港
海上保安庁	青森海上保安部	電話 017 -734 -2421 FAX 017 -777 -0910	第二管区海上保安本部長あて文書により要請(いとまがない場合は、口頭又は電話により受理し、事後に文書を徴する。)	巡視船 ヘリコプター	青森港

【資料11】 青森県消防防災ヘリコプター 臨時離着陸場 一覧 (平成22年1月31日現在)

	名 称	所 在 地	位置(WGS)
1	青森県消防学校	青森市新城字天田内183-3	40-50-16 140-40-46
2	青森・瀬戸子(せとし)	青森市瀬戸子字神田110-18	40-53-09 140-39-55
3	浅虫ヨットハーバー	青森市浅虫字蟹谷352	40-23-26 140-51-35
4	県立保健大学	青森市浜館字間瀬58-1	40-48-54 140-47-38
5	青森・学校教育センター	青森市大矢沢字野田80-2	40-47-27 140-46-21
6	浪岡・陸上競技場	青森市浪岡大字浪岡字稲盛地先	40-42-12 140-35-12
7	一本松公園陸上競技場	東津軽郡外ヶ浜町字蟹田鰯ヶ淵24-1	41-02-43 140-38-08
8	外ヶ浜町平館・山村広場	東津軽郡外ヶ浜町字平館根岸小川230-1	41-08-44 140-38-03
9	三厩やすらぎ公園	東津軽郡外ヶ浜町字三厩緑ヶ丘265	41-10-38 140-25-55
10	今別 あすなる公園駐車場	東津軽郡今別町大字今別字中沢54-8	41-10-46 140-29-37
11	蓬田・総合運動場	東津軽郡蓬田村郷沢字浜田138-18	40-59-11 140-38-55
12	弘前・岩木川河川敷	弘前市大字樋の口町 地内	40-35-57 140-26-00
13	弘前・岩木川野球場	弘前市大字悪戸字鳴瀬69地先	40-35-50 140-25-38
14	弘前市運動公園	弘前市豊田2-3	40-35-26 140-30-18
15	岩木山百沢スキー場	弘前市大字百沢	40-37-38 140-19-48
16	相馬小学校	弘前市大字黒滝字二ノ松本2-4	40-35-01 140-24-03
17	西目屋・田代	中津軽郡西目屋村田代字福元地内	40-34-30 140-17-46
18	藤崎・平川河川敷	南津軽郡藤崎町藤崎字下川原地内	40-38-47 140-29-46
19	常盤小学校	南津軽郡藤崎町大字常盤字三西田23	40-40-21 140-32-28
20	大鰐・あじら山	南津軽郡大鰐町大鰐字出張沢11	40-30-21 140-34-32
21	碓ヶ関小学校	平川市碓ヶ関三笠山127-23	40-28-44 140-37-48
22	八戸・東運動公園	八戸市湊高台8-2	40-30-11 141-32-39
23	八戸市防災コミュニティーセンター	八戸市大字田向字向川原32-3地先	40-29-34 141-30-55
24	厚生年金休暇センター	八戸市東白山台1丁目1-1	40-29-14 141-28-07
25	南郷区陸上競技場	八戸市南郷区大字市野沢字権現山10	40-24-24 141-25-56
26	いちょう公園	上北郡おいらせ町沼端地内	40-36-24 141-26-18
27	下田公園多目的グラウンド	上北郡おいらせ町西後谷地31-1	40-36-52 141-24-01
28	下田橋	上北郡おいらせ町向川原	40-35-44 141-24-24
29	五戸・ひばり野公園	三戸郡五戸町豊間内字地蔵平1-251	40-30-39 141-19-54

	名 称	所 在 地	位置 (WGS)
30	倉石・小渡平	三戸郡五戸町大字倉石中市字小渡88-1	40-30-23 141-16-28
31	三戸・松原公園	三戸郡三戸町川守田字西松原50	40-23-06 141-14-48
32	田子高校	三戸郡田子町相米字蝦夷館1-1	40-20-06 141-08-10
33	平運動公園	三戸郡南部町大字平字上の山32-1	40-24-22 141-20-29
34	南部・住谷野(すみやの)	三戸郡南部町大向字勘吉20-1	40-23-35 141-16-18
35	福地中学校	三戸郡南部町大字福田字板橋1-2	40-27-09 141-22-57
36	階上・小舟渡(こみなと)	三戸郡階上町道仏字廿一	40-27-08 141-40-52
37	新郷中学校	三戸郡新郷村大字戸来字大久保1	40-27-47 141-09-47
38	三沢漁港・運動広場	三沢市港町二丁目10-1	40-40-46 141-25-59
39	三沢市民の森	三沢市淋代平116-2941	40-44-02 141-22-00
40	十和田市菅陸上競技場	十和田市西十三番町3	40-36-35 141-12-21
41	十和田工業・野球場	十和田市一本木沢27-1	40-38-16 141-14-14
42	十和田湖総合運動公園	十和田市大字奥瀬字生内101-28	40-34-45 141-06-25
43	十和田湖小学校	十和田市大字奥瀬字十和田16	40-25-38 140-53-51
44	六戸町総合運動公園	上北郡六戸町犬落瀬字下久保174-1	40-37-00 141-19-15
45	五所川原・岩木川河川敷	五所川原市錦町・幾島町	40-48-50 140-26-13
46	五所川原・飯詰	五所川原市飯詰字狐野171-2	40-49-18 140-29-44
47	金木中学校	五所川原市金木町芦野84-9	40-54-22 140-27-42
48	市浦中学校	五所川原市相内岩井81	41-03-35 140-20-56
49	鶴田・岩木川河川敷	北津軽郡鶴田町鶴田字早瀬	40-45-30 140-25-39
50	中泊町運動公園	北津軽郡中泊町大字宮野沢字袴腰山1-84	40-57-40 140-27-29
51	中泊町中里ふれあい運動場	北津軽郡中泊町大字中里字宝森58-2	40-58-01 140-25-30
52	小泊 ライオン公園多目的広場	北津軽郡中泊町大字権現崎国有林1番地地先	41-07-16 140-17-01
53	むつ運動公園	むつ市山田町43-1	41-17-34 141-10-24
54	むつ市中央ヘリポート	むつ市中央1-175-1	41-17-34 141-11-06
55	あさひな丘陵上競技場	むつ市大畑町涌館19-1	41-24-35 141-09-30
56	川内高校 (大湊高校川内校舎)	むつ市川内町家ノ上48	41-11-44 140-58-09
57	脇野沢中学校	むつ市脇野沢瀬野川目85-2	41-08-27 140-48-59
58	大間高校	下北郡大間町大字大間字大間平20-43	41-31-30 140-55-49
59	奥戸(おこっぺ)中学校	下北郡大間町大字奥戸字館ノ上96-7	41-29-16 140-54-29
60	大間町ウイング	下北郡大間町大字大間字内山48-164地先	41-31-32 140-55-51
61	東通・北部グランド	下北郡東通村石持地内	41-20-05 141-18-32
62	東通オフサイトセンター臨時ヘリポート	下北郡東通村大字砂子又字沢内5番地32	41-16-51 141-19-50

	名 称	所 在 地	位置(WGS)
63	風間浦中学校	下北郡風間浦村易国間字古野18-1	41-29-28 140-59-17
64	佐井中学校	下北郡佐井村佐井字中道75	41-26-34 140-52-19
65	佐井棧橋	下北郡佐井村佐井字大佐井112地先	41-26-02 140-51-44
66	平内町営陸上競技場	東津軽郡平内町小湊字後港16	40-55-31 140-57-05
67	野辺地町運動公園	上北郡野辺地町松ノ木114	40-51-23 141-06-18
68	野辺地港潮騒公園	上北郡野辺地町字馬門道44-1	40-52-20 141-06-51
69	六ヶ所村大石総合運動公園	上北郡六ヶ所村尾駮字野附521-1	40-58-56 141-20-16
70	泊小学校	上北郡六ヶ所村大字泊字川原75-17地内	41-05-13 141-23-22
71	横浜中学校	上北郡横浜町上イタヤノ木91-17地内	41-04-38 141-15-43
72	木造・芦屋球場	つがる市木造川除鷲爪地内	40-49-39 140-25-00
73	木造・亀ヶ岡球場	つがる市木造館岡上沢辺地内	40-52-35 140-18-48
74	つがる市森田総合運動場	つがる市森田町森田屏風山2	40-46-41 140-20-16
75	柏・多目的運動広場	つがる市柏鷲坂清見地先	40-48-25 140-26-12
76	岩木川河川公園	つがる市稲垣町豊川藤ヶ酒地内	40-52-50 140-24-26
77	富苑農村公園	つがる市富苑町屏風山1-831	40-58-44 140-21-37
78	柏木農業高校	平川市荒田上駒田130	40-36-07 140-34-23
79	平賀西中学校	平川市大光寺白山13-2	40-35-11 140-33-04
80	平川・大坊	平川市大坊地内	40-33-39 140-32-16
81	平川・松崎	平川市松崎地内	40-35-44 140-31-39
82	黒石市運動公園	黒石市緑ヶ丘136	40-40-09 140-35-37
83	黒石・浅瀬石橋	黒石市追子野木一丁目562地先	40-38-06 140-36-16
84	田舎館中学校	南津軽郡田舎館村畑中字観妙寺40-1	40-38-18 140-33-04
85	板柳中学校	北津軽郡板柳町三千石字五十嵐103	40-42-45 140-28-05
86	七戸町七戸運動公園サッカー場	上北郡七戸町字鶴児平1-108	40-42-20 141-07-50
87	七戸町天間林運動公園グラウンド	上北郡七戸町字森ノ上16-4	40-44-44 141-10-16
88	東北町南総合運動公園わんぱく広場	上北郡東北町大字上野字堤向73-1	40-43-15 141-15-07
89	東北町北総合運動公園陸上競技場	上北郡東北町字外姥沢前平79-47	40-46-35 141-14-20
90	深浦・北金ヶ沢	西津軽郡深浦町北金ヶ沢字榊原上野208	40-45-11 140-04-45
91	深浦高校 (木造高校深浦校舎)	西津軽郡深浦町広戸字家野上95-157	40-39-42 139-56-30
92	岩崎・スポーツセンター	西津軽郡深浦町大字正道尻小磯40	40-34-39 139-55-43
93	鯨ヶ沢・大高山	西津軽郡鯨ヶ沢町舞戸町西松島304-2	40-46-03 140-12-01
94	ナクア白神スキーリゾート	西津軽郡鯨ヶ沢町長平町西岩木山75	40-41-40 140-16-52

【資料12】 緊急被ばく医療関係機関等連絡先一覧

1 初期被ばく医療機関

医療機関名	住所	被ばく医療情報の連絡先
六ヶ所村国民健康保険尾駁診療所	上北郡六ヶ所村大字尾駁字野附1161	tel 0175-72-2791, fax 0175-72-2792
六ヶ所村国民健康保険千歳平診療所	上北郡六ヶ所村大字倉内字笹崎289	tel 0175-74-2301, fax 0175-74-2339
一部事務組合下北医療センター 東通村診療所	下北郡東通村大字砂子又字里17番地2	事務部 tel 0175-28-5111, fax 0175-28-5601
北部上北広域事務組合 公立野辺地病院	上北郡野辺地町字鳴沢9番地の12	管理課 tel 0175-64-3211, fax 0175-64-5571
一部事務組合下北医療センター むつ総合病院	むつ市小川町一丁目2番8号	総務課 tel 0175-22-2111, fax 0175-22-4439
(独)労働者健康福祉機構 青森労災病院	八戸市大字白銀町字南ヶ丘1番地	総務課 tel 0178-33-1551, fax 0178-33-3277
三沢市立三沢病院	三沢市中央町4-1-10	管理課 tel 0176-53-2161, fax 0176-53-2173
公立七戸病院	上北郡七戸町字影津内98番地1	事務局庶務係 tel 0176-62-2105, fax 0176-62-6964
十和田市立中央病院	十和田市西十二番町14-8	業務課長 tel 0176-23-5121, fax 0176-23-2999
六戸町国民健康保険病院	上北郡六戸町大字天落瀬字後田42の1	事務 tel 0176-55-3121, fax 0176-55-5742
国民健康保険おいらせ病院	上北郡おいらせ町上明堂1-1	事務局 tel 0178-52-3111, fax 0178-52-3110

2 二次被ばく医療機関

医療機関名	住所	被ばく医療情報の連絡先
青森県立中央病院	青森市東造道二丁目1-1	救命救急センター tel 017-726-8122, fax 017-726-8420
八戸市立市民病院	八戸市大字田向字毘沙門平1	管理課 tel 0178-72-5111, fax 0178-72-5115
(独)国立病院機構 弘前病院	弘前市大字富野町一番地	管理課 tel 0172-32-4311, fax 0172-33-8614

3 青森地区三次被ばく医療機関

医療機関名	住所	被ばく医療情報の連絡先
弘前大学医学部附属病院	弘前市本町53番地	救急部 tel 0172-39-5314, fax 0172-39-5316 総務課 tel 0172-39-5162, fax 0172-39-5189

4 三次被ばく医療機関

医療機関名	住所	被ばく医療情報の連絡先
(独)放射線医学総合研究所 緊急被ばく医療研究センター	千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1	tel 043-206-3189, fax 043-206-4095

5 県

機関名	住所	被ばく医療情報の連絡先
東青地域県民局地域健康福祉部保健総室	青森市造道3丁目25-1	指導予防課 tel 017-741-8116, fax 017-742-7250
中南地域県民局地域健康福祉部保健総室	弘前市大字吉野町4-5	指導予防課 tel 0172-33-8521, fax 0172-33-8524
三八地域県民局地域健康福祉部保健総室	八戸市大字尻内町字鴨田7	指導予防課 tel 0178-27-1594, fax 0178-27-1594
西北地域県民局地域健康福祉部保健総室	五所川原市末広町14	指導予防課 tel 0173-34-2108, fax 0173-34-7516
上北地域県民局地域健康福祉部保健総室	十和田市西二番町10-15	指導予防課 tel 0176-23-4261, fax 0176-23-4246
下北地域県民局地域健康福祉部保健総室	むつ市大湊新町11-6	指導予防課 tel 0175-24-1231, fax 0175-24-3449
青森県健康福祉部医療業務課	青森市長島1丁目1-1	薬務指導グループ tel 017-734-9289, fax 017-734-8089